

失語のリハビリテーション

～楽しくコミュニケーションを取るために～

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
言語聴覚士 渡辺誠奈

内容

- 失語症とは？
- 失語症の症状
- リハビリの実際
- 失語症の方との関わり方

「失語症（しつごしょう）とは？」

一度獲得した「言葉（言語機能）」が障害された状態

高次脳機能障害のひとつ

〈原因〉

- 脳血管障害（脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血）
- 脳外傷（交通事故、転倒）

→主に左半球の損傷により起こることが多い

※ごく稀に右半球の損傷により起こる方もいる

性別、症例別の高次脳機能障害者数

	入院		外来		合計
	男性	女性	男性	女性	
失語症	1,733	1,276	937	447	4,393
失認・失行	423	386	56	25	890
記憶障害	598	508	396	212	1,714
注意・遂行機能障害	2,192	1,548	562	215	4,517
行動と情緒の障害	506	471	177	85	1,239
					12,753

原因疾患別の高次脳機能障害者数

	失語症	失認 失行	記憶障害	注意・遂行 機能障害	行動と情緒 の障害	合計
脳梗塞	2,306	485	461	1,891	379	5,522
脳出血	1,306	249	273	1,213	237	3,278
くも膜下出血	236	48	215	375	103	977
脳外傷	167	31	369	529	208	1,304
変性疾患	51	12	97	102	97	359
合計	4,066	825	1,415	4,110	1,024	11,440

言葉（言語機能）とは？

1. 聞く：相手の話す内容がわかる
2. 話す：自分の言いたいことを伝える
3. 読む：声に出して読む、文字を見て内容を理解する
4. 書く：伝えたいことを文字に表す

⇒失語症はこれら**全て**が障害される

失語症の症状

1. 「聞く」ことの障害

• 難聴とは違う

- 言葉は聞こえているのに、言葉の意味を理解できない。
- 聞いた内容を頭にとどめておけない。

1. 「聞く」ことの障害

①聴覚的理解力の低下

特にあまり使わない身近ではない単語（低親密度語、低頻度語）の理解が困難となる。

一音の識別すら困難になる方も。



知らない外国語を
聞いているような状態



1. 「聞く」ことの障害

②聴覚的把持力低下

動詞、助詞、語順等を頭に保持しておくことが困難となり**文の理解**が困難となる。

しばしば失語症のみでなく**アルツハイマー型認知症**にも見られる症状。

2. 「話す」ことの障害

かんごこんなん

- ① **喚語困難**：言いたい言葉が出てこない、
見つからない

(失語症が改善しても、最後まで残り
やすい症状)

例)



「ここまで出てるんだけど
なんだっけ…」
「あの、赤くて丸い…」

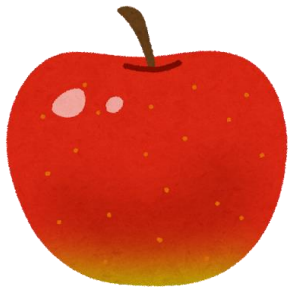


2. 「話す」ことの障害

さくご

② **錯語**：目的の言葉とは違う言葉や音になる

例)



「みかん」



「めがに」

2. 「話す」ことの障害

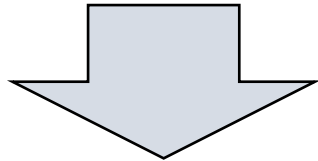
③ ジャルゴン：無意味な言葉の羅列

例) 「てっちょのいわしんぐがどじょんです」

はつごしっこう

④ 発語失行：発語が不規則に歪んだり、途切れ途切れ（非流暢）になる。

例) 『手を挙げて』



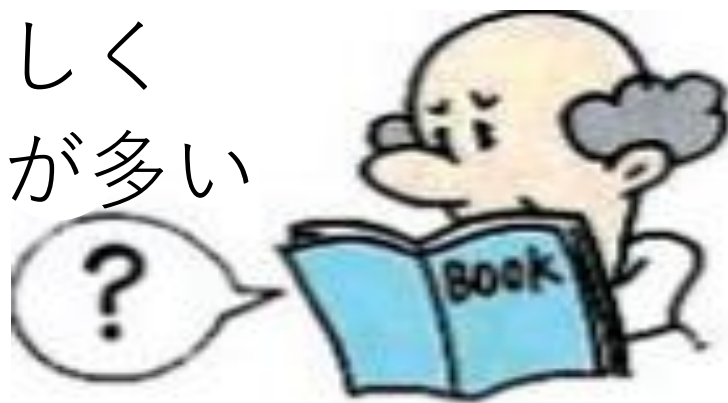
「ティ、ヲアゲ、、テ」

3. 「読む」ことの障害

しつどく

- 「**失読**」とといいます。
- 文字や文章を声に出して読むことが難しい
- 声に出して読めても、書いている言葉の意味が分からない

一般に、仮名の理解が難しく
漢字のほうがわかることが多い



4. 「書く」ことの障害

しっしょ

- 「**失書**」とといいます
- 違う文字に書き間違える
- 文字が思い出せない

一般に、「話す」ことよりも「書く」ことのほうが難しい

⇒ 「話すことが難しいなら、~~書いてみて~~」

⇒ 「~~50音表指さして~~」



リハビリの実際

失語症訓練の目的

- 一度無くした

言語機能を可能な限り取り戻す。

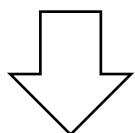
- **社会へ参加すること。**



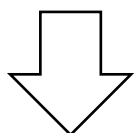
言語室でりんごの絵カードを見せてりんごと
うまく言えることが目標となっはいけない。

言語訓練開始まで

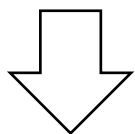
1. 医師の処方



2. 情報収集



3. 言語機能評価



4. 訓練立案・開始

脳血管疾患


入院日 発症日 手術日
年 月 日 年 月 日
治療開始日 初診日

脳血管疾患 I

リハ早期加算あり
失語症 評価・訓練
高次脳機能評価・訓練

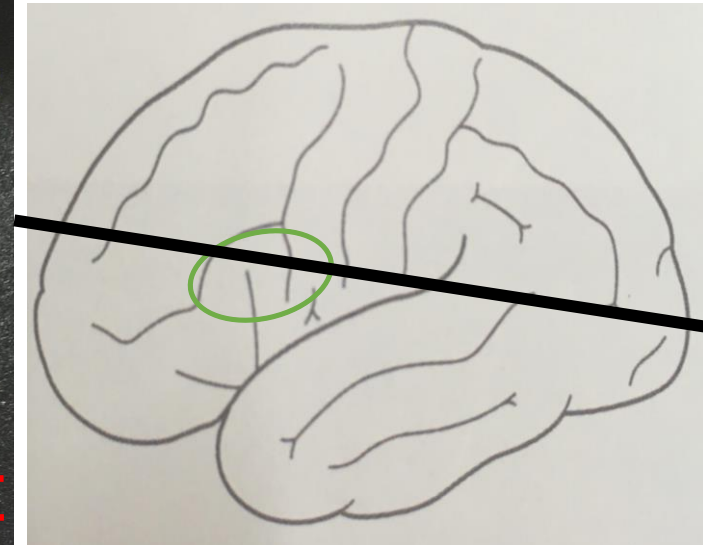
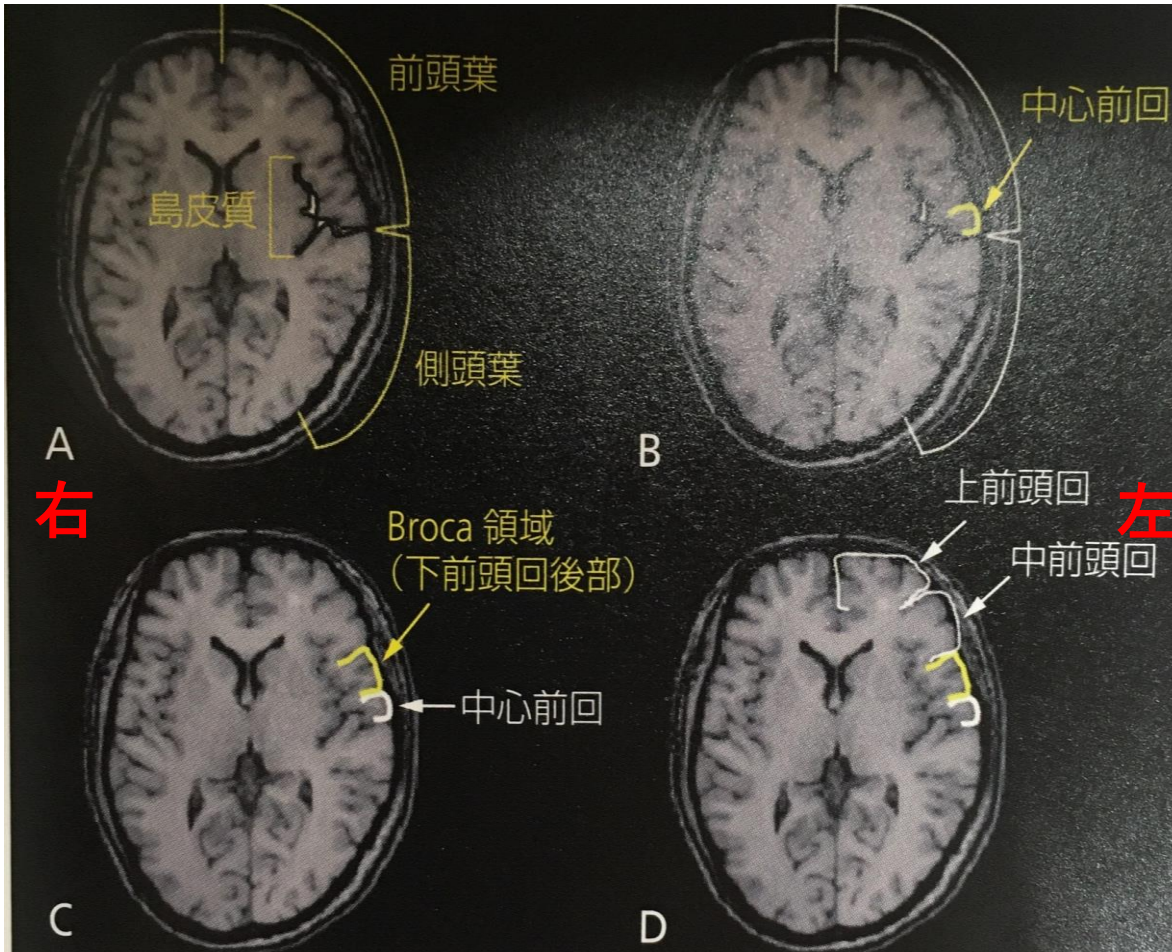
情報収集

1. 病歴
2. 性別
3. 利き手
4. 職業歴
5. 教育歴
6. 言語習慣
7. 脳画像 etc . . .

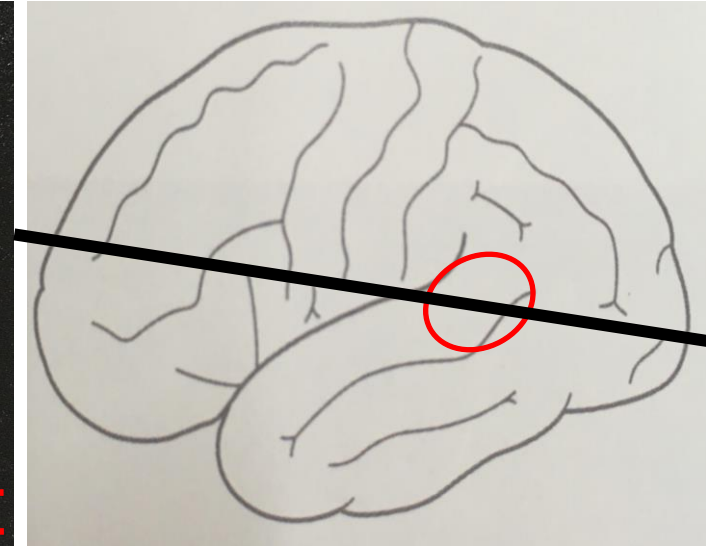
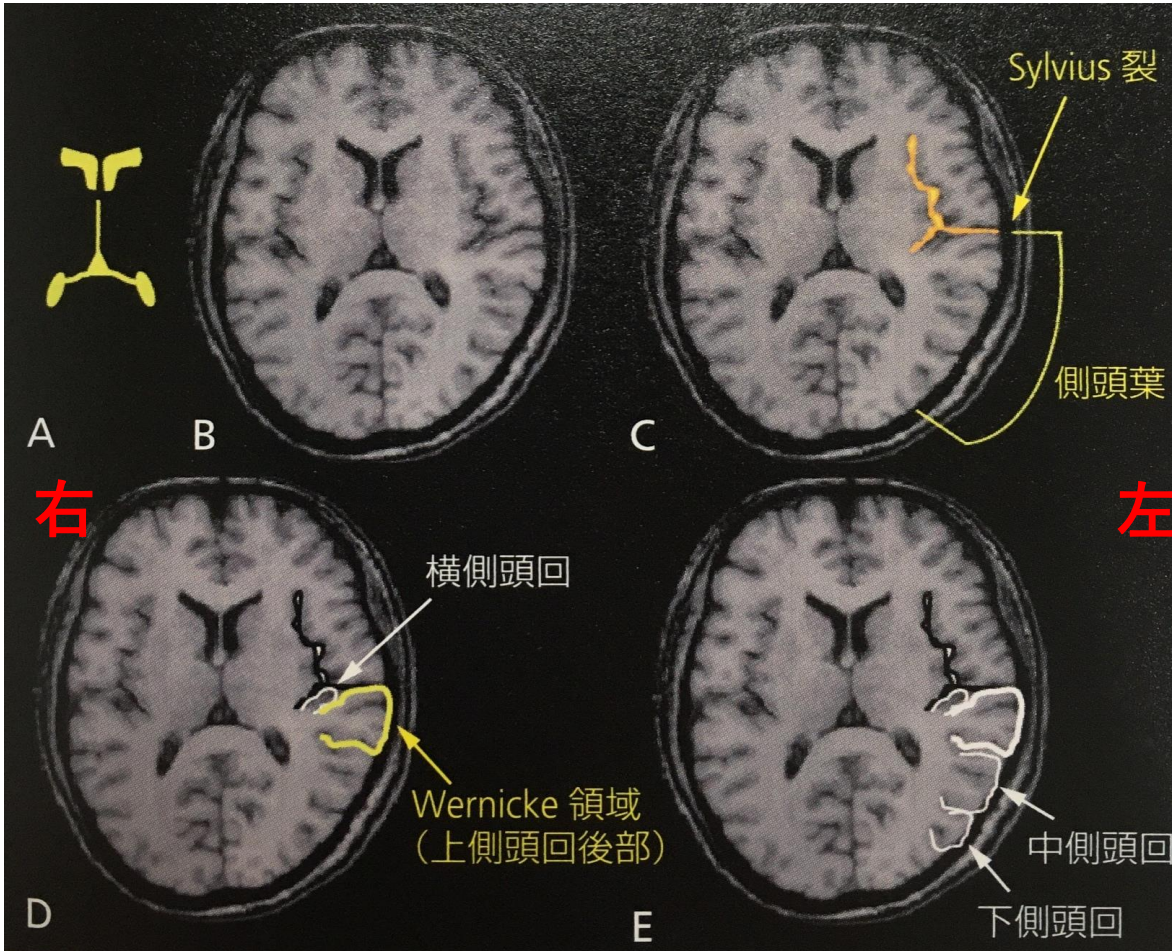


**失語症鑑別
予後予測に利用**

失語症脳画像の見方

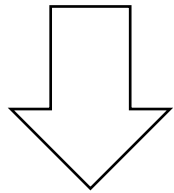


失語症脳画像の見方

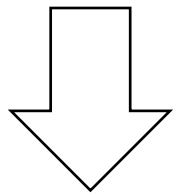


言語機能評価

1. 面接



2. 言語検査



3. 掘り下げ検査



面接

会話が主となる。患者さんにできるだけ自然に楽しんでもらえるように会話を進め必要な情報を収集する。

コミュニケーション態度

言葉に反応があるか
アイコンタクトや表情変化はどうか
代償手段が活用されているか

全般的なコミュニケーション能力

受容面：通常のコミュニケーションは可能かどうか
どの程度援助が必要か

表出面：喚語困難や錯語がないか、発話量は十分か
代償手段や援助は必要か

言語検査

標準失語症検査



- 失語症の代表的な検査。
- 26項目の下位検査で構成され、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算」について6段階で評価する。
- 失語症の鑑別が可能。

言語検査

WAB失語症検査



- 失語指数が算出可能。
⇒ 失語症の経過を評価しやすい。
- 失語症のタイプ分類が可能。
- 失語症の検査項目以外に
非言語性検査が含まれる。

掘り下げ検査

- ・ 言語障害をさらに明確にし、患者さんに合った訓練法を考えるために実施する。
- ・ 臨床家が個々の患者さんに必要であると考えた検査を選択する。
- ・ 既成の検査のみではなく臨床家自ら作成することもある。

掘り下げ検査



失語症語彙検査
話す側面を評価

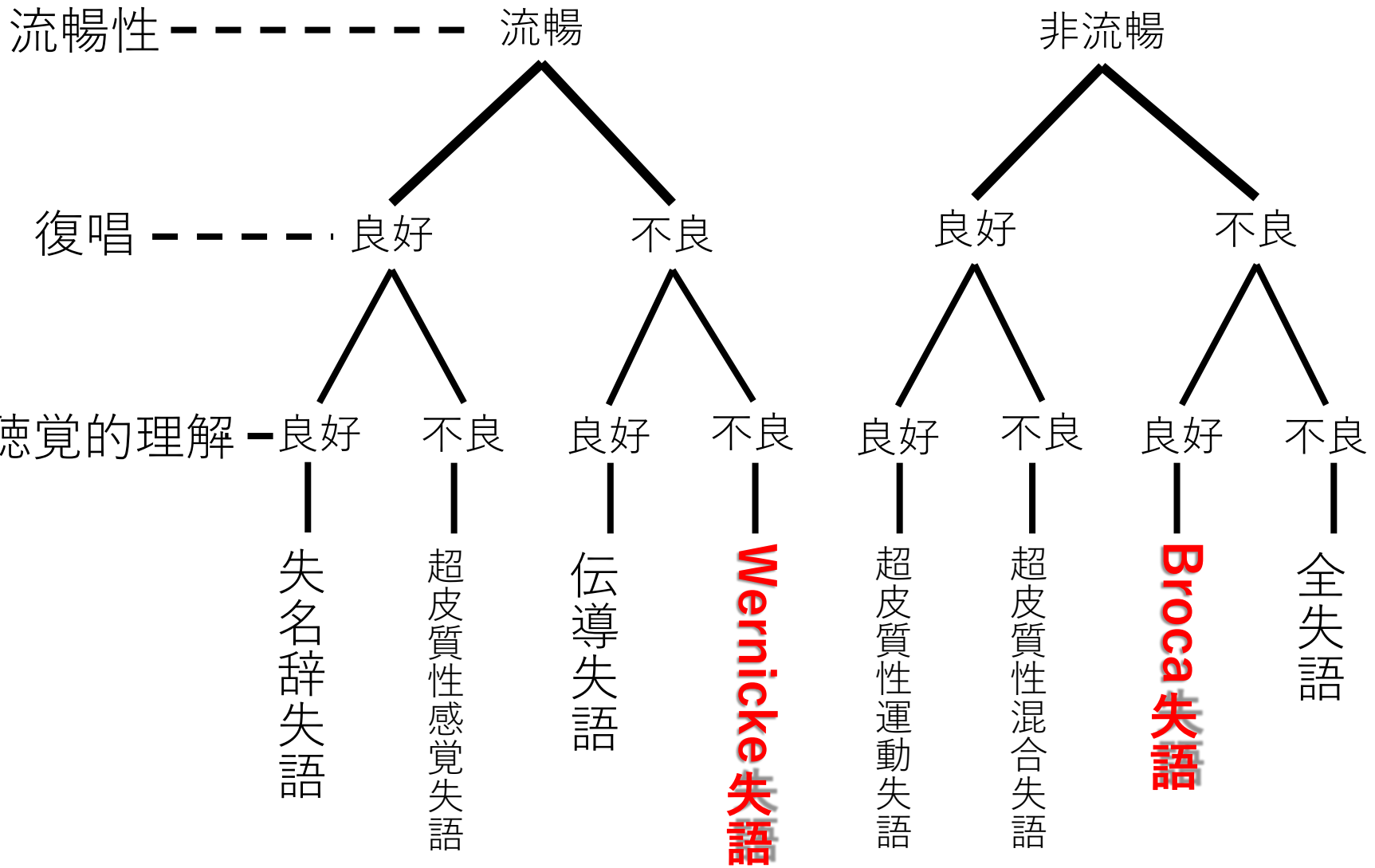


トークンテスト
聞く側面を評価



標準読み書きスクリーニング検査
読む、書く側面を評価

失語症分類



失語症分類

ブローカ

Broca失語

基本概念：非流暢な発話、復唱は障害される。
自発話に比べて良好な聴覚的理解。

頻発症状：発語失行、文の障害

頻発合併症：右片麻痺、右顔面麻痺、口部顔面失行

病巣：Broca領域（前頭葉）等

失語症分類

ウェルニッケ

Wernicke失語

基本概念：発話は流暢であるが、復唱障害や聴覚的理解障害を認める。

頻発症状：錯語、ジャルゴン

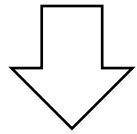
頻発合併症：病識の低下、右同名半盲

病巣：Wernicke領域（側頭葉）等

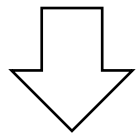
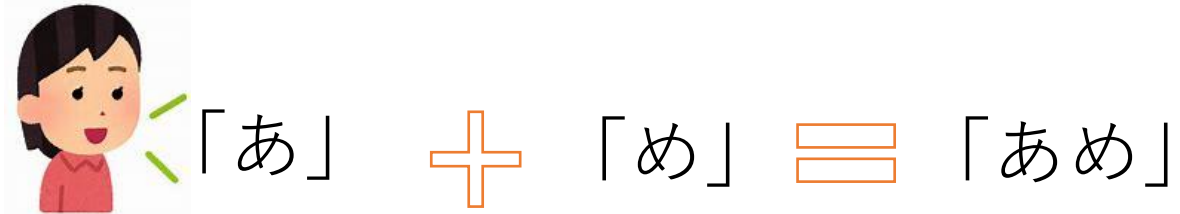
言語障害のレベル

話す側面を例として

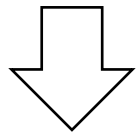
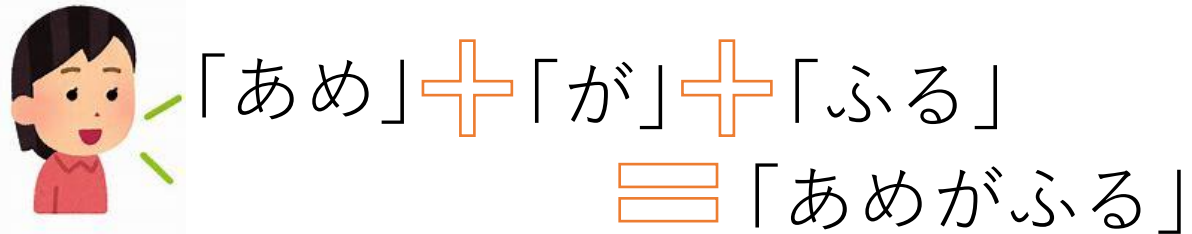
音韻 (音)



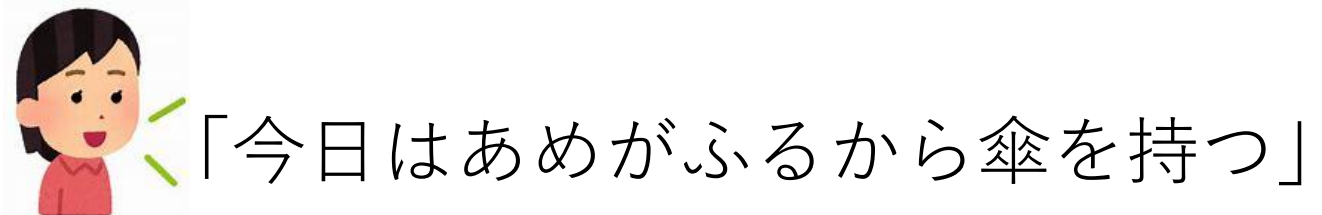
単語



短文

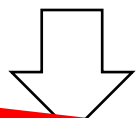


日常会話

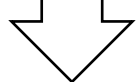
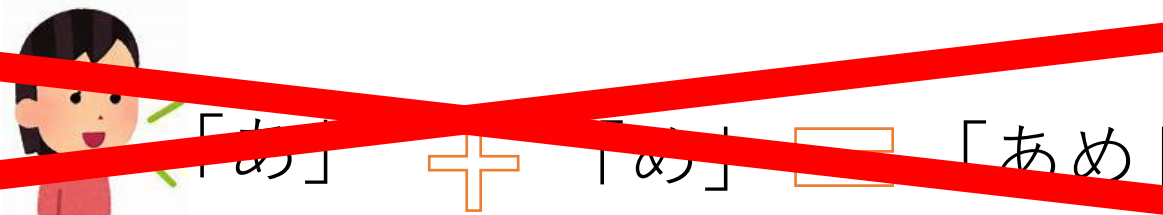


言語障害のレベル

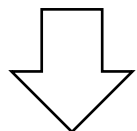
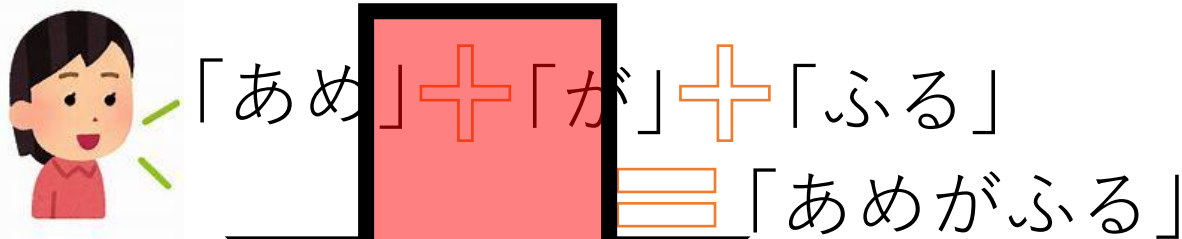
音韻 (音)



単語



短文



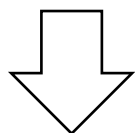
日常会話



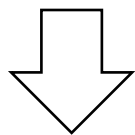
訓練立案

面接や**言語検査**の評価に基づいた訓練を立案する。
患者さんの言語機能に応じて目標を設定する。

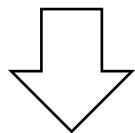
音韻（音）



単語



短文



日常会話

訓練（音）

- ・ 音の理解に障害があると「言葉」のどこにどの音があるかといった成り立ちを理解しにくくなる。
- ・ 発話では錯語（他の音に変わる）の原因になる。
- ・ 訓練は一音の復唱課題や穴埋め、音の異同弁別並び替え等を行う。





「あ」


訓練 (音)


絵の名前をひらがなで書くとどうなりますか。 の中から
適当な文字を1つ選んでひらがなのことばを完成させてください。

ま こ お め

解答例  猫 ね

(1)  雨 あ

(2)  山 や

(3)  顔 か

4・5 漢字単語と仮名単語(ひらがな)を対応させる

仮名穴埋め訓練

左の漢字単語を表すように、右側の仮名を正しい順に
並び替えてください。

解答例 桜 ⇒ くさら (さくら)

(1) 薬 ⇒ りすく ()

(2) 机 ⇒ えつく ()

(3) 卵 ⇒ またご ()

(4) 魚 ⇒ かさな ()

(5) 頭 ⇒ まあた ()

鏡 ⇒ みかが ()

並び替え訓練

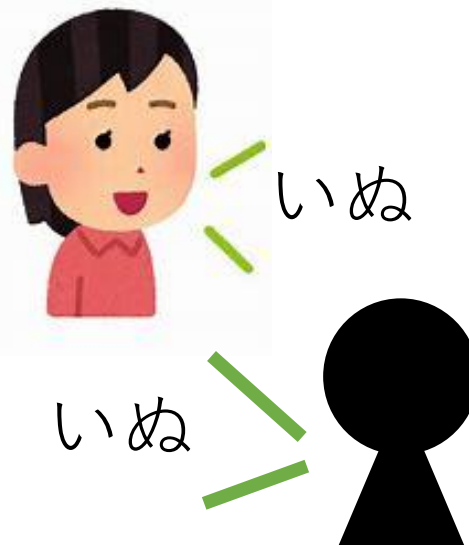
訓練（単語）

喚語困難は後遺症として残りやすい症状の一つ。
喚語へのアプローチは「**呼称**」を行う。
そのほか「**復唱**」や「**音読**」も有効な訓練となる。

呼称



復唱



音読



訓練（文）

- 文の表出には「**動詞**」が必要となる。
- 名詞と動詞をつなぎ合わせる訓練が必要。
- 絵を見て動作を表す言葉を選択する訓練
動詞部を挿入して文を完成させる訓練 等を行う。

守る




蹴る

訓練 (文)

名


左側の絵は、右側のことば（動詞）のどちらと合うでしょうか。合う方のことばを選んで、○をつけてください。

解答例




が 咲く


が 着る

(1)  が 歩く

が 出る

(2)  が 飲む

が と飛ぶ

(3)  が 鳴る

が 乗る


動詞の選択訓練

名


絵を見て、何をしているところなのかを、の中から選んで、()の中に入れてください。


咲く 鳴く 降る

解答例



(咲 く)

(1)  ()

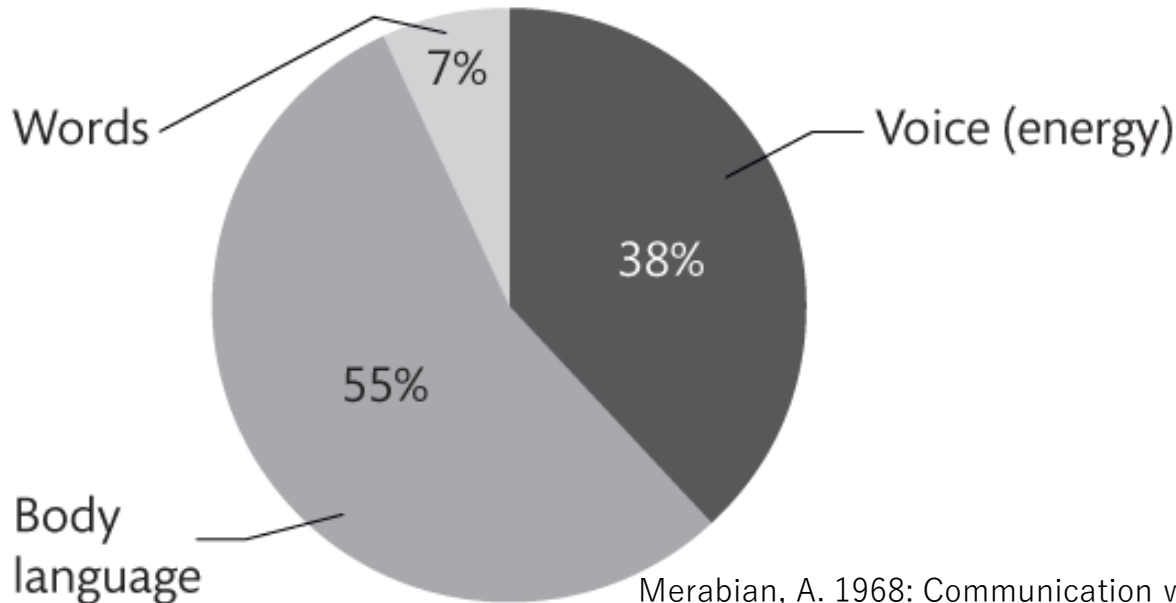
(2)  ()

3・2 絵を見て動作を表すことばを挿入する

動詞部挿入訓練

非言語コミュニケーション

- ・言語的情報以外を使って行われるコミュニケーションのことで、表情・視線・姿勢・しぐさなど様々な種類がある。
- ・メッセージ全体の印象を100%とした場合に言語の占める割合は7%、音声占める割合は38%、**表情としぐさの占める割合は55%**という研究も。



Merabian, A. 1968: Communication without words, Psychological Today, 2, 53-55.

非言語コミュニケーション訓練

ジェスチャー：
道具を必要としない。
少し離れた相手にも伝達可能。
複数の相手に同時に伝達可能。

訓練：VAT（Visual Action Therapy）

- ①物品・絵を提示する
- ②使用方法の確認
- ③ジェスチャーに対応する物品・絵を選択する
- ④自身でジェスチャーを表現する。

重度 2 例で ジェスチャー表出に般化を認めたとする報告あり（田中, 1992）

非言語コミュニケーション訓練

コミュニケーションノート：
生活で使用する物品、絵、写真を集めて
「カテゴリー別」に記載するノート。
言語症状やニーズに合わせて作成可能。

訓練：

- ①作成に必要な環境・個人情報収集
(住所、家族名、体調、衣服、食料など)
- ②ご家族、医療チームと使用方法を確認
- ③使用訓練を行う。
- ④病棟、日常生活で使用する

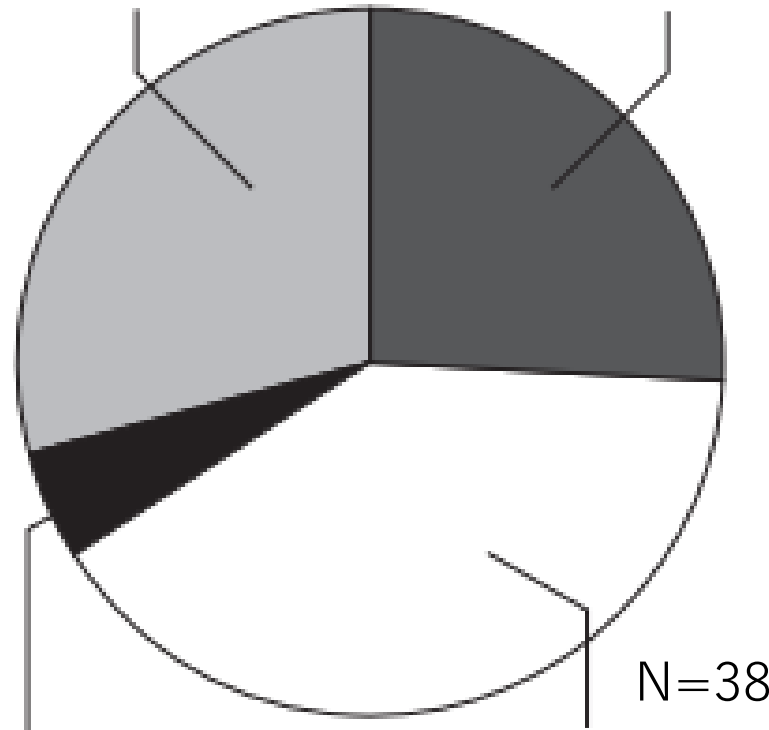
活用にはコミュニケーションへの積極性、関心が必要 (Coelho, CA, 1991)
周囲の促しや質問により使える場合が多く実際のコミュニケーション場面で
使用することが習熟につながる (緑川ら, 2005)

「失語症」の方との 関わり方

在宅における失語症者の言語機能

聴覚的理解：短文レベル
発話：短文レベル11名（29%）

聴覚的理解：単語レベル
10名（26%）



聴覚的理解：短文レベル
発話：単語レベル2名（5%）

聴覚的理解：短文レベル
15名（40%）

種村ら:

身体障害を伴わない失語症者の日常生活上の困難に関する実態調査,高次脳機能研究 41 (1) : 72 ~ 77, 2021

話かけるとき

- 1文を区切って、**短い言葉**で伝える、**言いかえる**

例) 「今から食事ですから食堂に行きましょう」
⇒ 「食事の時間です」 「食堂へ行きましょう」

- 話題を変える時は、**強調する**
- 大事なポイントをメモ（文字・絵）しながら伝える

言葉が出ないときは…

- 急かさずに、ゆっくり待つ



- はい/いいえ で答えられるような質問をする

- 文字や絵の活用

(非言語コミュニケーションの併用)



もっとも大切なことは…

口から出てきた言葉だけではなく

視線や表情、身振り手振り
周りの状況
話の前後関係など



さまざまな情報を介して理解しようとする
ことです

コミュニケーションは
「言葉」だけでなく、
心が触れ合う活動
楽しくやり取りできるよう
周囲のサポートが大切です



おいしいわ
これ
たべてね

い・た・だ・き
ま・す

ゆっくり
話してね

よく
わかぬ